

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 011	提案機関名 全国農業協同組合連合会神奈川県本部
要望問題名 かなこまち栽培普及	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 かなこまちの研究・栽培指導により、一定の生産者の技術向上が見受けられる一方で、奇形果の発生や果形の不安定さなど、引き続き品質面での課題を抱えている生産者も多くいます。生産現場では、消費者の期待に応えるべき安定生産に向けたさらなる技術支援・指導が求められています。灌水管理や地下部の生育環境との関係性に着目した試験研究が進められていることは承知しております。より実践的かつ具体的な栽培指針の確立に向けて、引き続きの研究・検証と栽培指導をお願いします。また、令和8年6月の品種利用許諾契約の期間満了後の‘かなこまち’の販売、生産及び県の育成品種としての方向づけの教示をお願いします。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅱ-2 県民ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 (1) 主要作物の高品質・安定生産技術の開発 イ イチゴ‘かなこまち’の安定生産技術・環境制御技術の開発		
対応の内容等	‘かなこまち’の安定生産に向けて、栽培技術Q&Aに引き続き、栽培技術マニュアルを令和7年度に作成しました。生理障害の記載も取りまとめているので、これらの資料に基づいて生産現場への技術支援をしてまいります。また、‘かなこまち’の安定生産技術の確立に向けた試験研究を引き続き実施します。 なお、品種利用許諾契約の期間満了後の販売、生産に関する県の方針については、当所から生産振興所管課である農業振興課に伝えます。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			